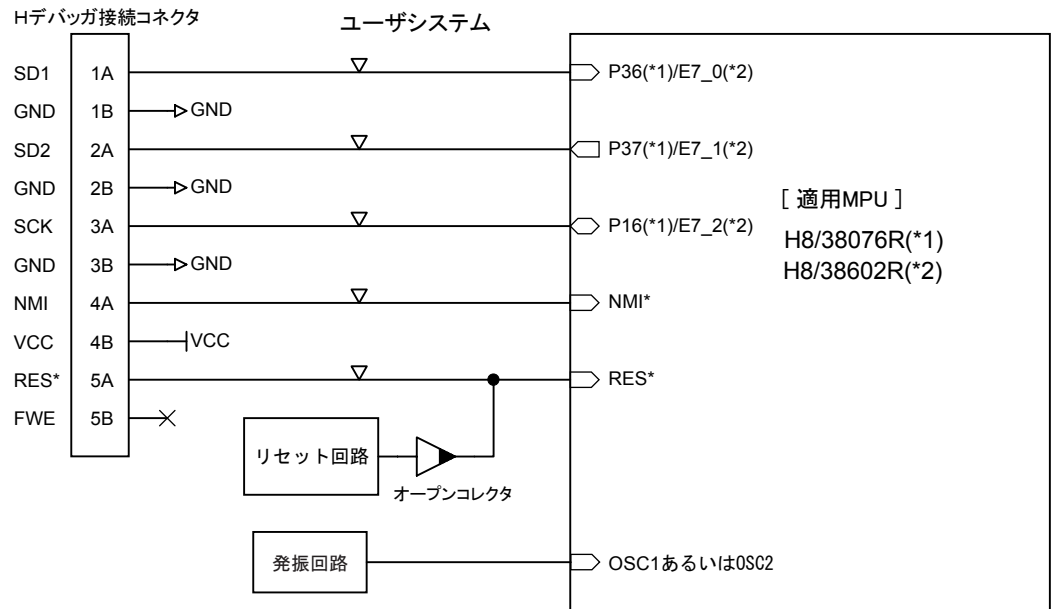


【接続例6】 H8/38076,38602Fの場合 (H8/300H SLPシリーズ)



- 1) ▽印はプルアップ抵抗です。抵抗値は4.7K~22Kの範囲を推奨します。
- 2) FWE信号は使用しません。(どこにも接続せず開放にしてください)
- 3) リセット回路の遅延時間は、200mSEC以下になる様ハード設計をして下さい。
- 4) 発振子をOSC1, OSC2端子に接続した状態でデバッグして下さい。